

(令和2年1月15日(水)午前9:30～ 役場第3会議室)

## 第1回新庁舎建設等検討委員会 町長挨拶

第1回検討委員会の開催に当たり、一言、御挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、この度の野辺地町 新庁舎建設等検討委員会の開催に当たり、委員への就任をお引き受けいただき、誠にありがとうございました。

また、お忙しい中にも関わらず、本日の第1回検討委員会に御出席いただきまして、重ねて御礼を申し上げます。

私は昨年10月に町長に就任し、まず着手をいたしましたのは、新庁舎建設事業の見直しであります。

私は、防災拠点となる役場庁舎の重要性を理解し、早期の整備が必要と感じておりますが、その建設計画については、改めて、町民の皆様の御意見を伺って、建設場所や規模等を再検討した上で、進めたいと考えております。

新庁舎建設の「基本構想」については、平成29年度に検討委員会に諮問しまして、その答申をいただいております。

この時は、「市町村役場機能緊急保全事業」を活用するためには、令和2年度までに庁舎を完成させなければならないという条件があり、「短い工期が想定された更地」である新町の場所を1位と評価した内容としておりました。

その後、「市町村役場機能緊急保全事業」に経過措置が設けられ、条件が「令和2年度までに実施設計に着手した事業」と変わり、工事の完了については特に定めがなくなりました。

この猶予された時間を有効に用いながら、町民に望まれる庁舎のかたちを考え、実現していきたいと思っております。

先般、11月に町民の皆様、自治会の方々の御協力をいただいて、新庁舎建設に関するアンケートを実施いたしました。

広報を配布している町内の約5,500世帯にアンケートを配布しまして、その半数を超える約3,000の方々から御提出があり、その概要については、この後の委員会で報告いたしますが、場所を尋ねた設問では「本町の現在の役場の場所が良い」という声が多数となっております。

このような意見を活かしていきたい、必要があるという声が多ければ、現在の「新庁舎建設基本構想」の一部修正等も考えていきたいと思っております。

この検討委員会は、利用される町民の皆様の御意見をお伺いし、利便性が高く、多くの町民に親しまれ続けられる庁舎にするために、立ち上げさせていただきました。

委員の皆様には、町民に求められている役場庁舎の姿とはどういうものであるのか、また、「新庁舎建設に関するアンケートの集計結果」と「現在の新庁舎建設基本構想」の相違をどのように整合させるべきか、基本構想の再検討等について、諮問させていただきますので、活発な御議論を賜りますよう、よろしく申し上げます。

簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。